

5月9日(土)

発行 市川市議会  
編集 議会運営委員会  
市川市八幡1-1-1 ☎334-1111  
http://www.city.ichikawa.lg.jp/  
cou01/154100002.html

## 2月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日(定例会号)、1月1日(新年号)に発行します。  
次回の市川市議会は5月に臨時会が開かれる予定です(定例会の開会予定日は8面に掲載)。



# いちかわ

# 市議会だより

## 2月定例会

# 当初予算案などを可決

## 市長の施政方針などに各会派から代表質問



身近にある美しい景観(市川市動植物園の新緑)

市議会は、平成27年2月定例会を2月17日から3月17日まで開催しました。

2月定例会では、初日に大久保博市長が施政方針演説を、次いで田中庸恵教育長が教育行政運営方針演説を行いました。続いて、市長が提出した平成27年度当初予算案を含む市長提出議案等を全て一括議題とし、これに施政方針、教育行政運営方針を含めて、各会派が代表質問を行いました。また、議員からは、市川市議会委員会条例の一部改正案、ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書案等の発議12件が提出されました。その他、17人の議員による一般質問を行いました。

本会議での採決の結果、市長提出議案の44件をいずれも原案通り可決・同意し、諮問4件を異議ない旨答申しました。また、議員提出の条例案1件及び意見書案など6件を可決、6件を否決しました。また、専決処分の承認を求める報告1件を承認した他、3件の報告がなされました。

(代表質問は2〜5面、一般質問は6〜7面、審議結果一覧は8面に掲載)

### 市川市議会委員会条例の一部改正案を可決

市議会は、環境清掃部を環境部と清掃部に分ける等の市川市行政組織条例の一部改正、及び教育委員会制度改革に関する法改正に伴い教育委員会の代表者が教育長となったことを受け、市川市議会委員会条例の一部改正案を発議し、多数をもってこれを可決しました。

### ◆施政方針(要旨)

人口減少・超高齢社会の進展に伴い、地方自治体のあり方が問われる時代となった。こうした時代の変化に対応するには、自主性を持って市政運営に当たる必要がある。市川らしさを維持しつつ、絶えず新しい発想で施策に取り組む、市民、NPO、企業等とともに、多くの人々が住んでみたい、住み続けたいと感じる質の高いまちを築いていく。

これからも、市民本位の行政を信条に、全力で取り組んでいく。(市政運営の基本方針)

本市の人口は市街地再開発の完成等で47万3千人まで回復したが、少子高齢化の進展と生産年齢人口の減少などによる人口構成の変化に対する備えは急務である。将来にわたり持続可能な市政運営を進めるには、財政基盤の強化が必要であり、財政健全化策を引き続き講じる必要がある。

平成27年度は「美しい景観づくり」「福祉の充実と生活の安定」に取り組み、まちの魅力を高める他、これらの政策を実現するため「行財政改革による安定経営」を図り、引き続き強固な財政基盤を築いていく。

(将来都市像の実現に向けて重要な施策)

- (1)安心なまちづくり 都市基盤の整備、防災対策、福祉、健康づくり、教育、子育て等生活に密着したサービスの充実、都市の低炭素化促進など
- (2)快適なまちづくり 美しい景観づくり、道路交通環境の整備、スポーツ環境の充実、市民にやさしい市役所、新庁舎の整備など
- (3)活力のあるまちづくり 未利用地の有効活用、文化施設の整備、市民活動の支援、女性の起業支援、地域経済の振興など

### ◆教育行政運営方針(要旨)

平成26年度は教育委員会制度の抜本的改革が行われた。教育委員会は、改革の趣旨に沿い、総合教育会議での協議・調整を通じ、市長と教育政策の方向性を共有して教育行政の運営に努める。教育を取り巻く諸課題に対し、企画立案機能を強化し、積極的な姿勢で教育の振興に取り組み、確かな成果を挙げていく。

(教育行政運営の基本方針)

- (1)変化の激しい社会に対応できる「生きる力」の育成
  - (2)地域社会の中で様々な担い手が連携・協力して行う「家庭・学校・地域・行政の連携による子どもの学びの支援」
  - (3)「知識基盤社会」の時代を見据えた「生涯学習環境の整備」
- 「人をつなぐ、未来へつなぐ、市川の教育」の実現に向けて「重要な施策」
- (1)子どもの姿 「校内塾・まなびくらぶ」の充実、道徳教育の推進、学校図書館の機能向上、ヘルシースクール推進事業の継続など
  - (2)家庭・学校・地域の姿 家庭教育学級、塩浜小・中学校の小中一貫教育「塩浜学園」開校、学校支援コーディネーターなど
  - (3)市川の教育の姿 特別支援教育体制の整備、不登校・いじめ問題への対応、第四次市川市生涯学習推進計画に基づく生涯学習機会の充実など

### ◆当初予算

当初予算は、一般会計が対前年度比2.2%増の1340億円、特別会計は、6会計を合わせて958億1000万円と同8.6%増、公営企業会計の病院事業は18億9000万円と同5.7%の減で、総額は2307億円、同4.7%の増となっています。